

Yutaka Fukushikai

RECRUIT Guide



障害者福祉って、 どんな仕事だろう

興味を持ってくれたあなたへ

障害者福祉って、どんな仕事だろう。
どんなことが想像できるだろう。
食事やお風呂、移動するときの付き添い、
日常生活に必要なことをサポートする。

でも、人が社会で生きていくのにはそれだけじゃ足りない。
仕事をして、誰かに寄り添いながら、たまには息抜きして。
そして、社会に認めてもらう。

ゆたか福祉会は障害のある方がより良く生きていけるために、
自律ができる環境を整え、暮らしを支える。
「人間として生きる権利の実現」をめざしています。

私達の事業に興味を持って、知ろうとしてくれたあなたは、
きっと、誰かのために頑張れる人。
きっと、誰かに必要とされる人。
人を、目指す社会まで導ける。

そんなあなたを、支えたい。
そんなあなたにだからこそ、私たちとともに歩んでほしい。
それがゆたか福祉会の想いであり、願いです。

社会福祉法人
ゆたか福祉会

事業理念

障害のある人たちの「いのちとねがい」を大切に、社会への参加とゆたかな暮らしの実現をめざします。誰もが安心して暮らせる地域をつくるため、たくさんの「つながり」を築きあげていきます。ゆたかな笑顔と人間性を育み、関係者の創意を活かすとともに、社会から信頼される経営をめざします。

ゆたか福祉会から、あなたに

ゆたか福祉会には現在650名を超える職員が働いています。利用している障害のある方達、高齢者は1000名以上。多くの職員が利用している人達の日々の支援をしながら、時にはリフレッシュして元気に働いています。

ゆたか福祉会の創立は1969年です。50年を超える歴史の過程は、障害のある方達がよりよく生きていけるための環境を整え、暮らしを支え「人間として生きる権利の実現」をめざしてきた歴史でした。

障害者の福祉に興味を持って、知ろうとしてくれたあなた。また今日初めて出会ってくれたあなた。福祉の仕事は、とても奥が深い仕事です。ぜひ、この法人紹介を最後まで読んでいただき、自分の人生と福祉の仕事について考える機会にさせていただけると嬉しいです。

ゆたか福祉会のめざすもの

ゆたか福祉会は3つの事業理念を掲げて活動を行っています。障害の有無に関係なくより良く生きることが誰しも平等に持っている権利です。しかし現実社会には様々な障壁があります。私達は障害のある方と、そのご家族の願いを大切に、新たな事業とサービスを提供し続け福祉を発展させる。それが私たちゆたか福祉会のめざすものです。



障害のある人の 人生の伴走者として

私たちが日々対象としているのは、障害児学校を卒業した人達、何らかの原因で中途障害になった方々、年齢も18歳から80歳を超える方までという幅広い年齢層の方達です。多くの方が出会いから人生の大半を私たちと共に歩んで頂くことになります。ひとり一人の障害のある方の人生に寄り添って、その時々に必要な支援をする。これが私たちの仕事の醍醐味だと思っています。

私たち職員も同じ時代を生きる人間です。自分の成長や変化の鏡のように、障害のある人達の伴走者として、息のながい支援が出来ること。これが私たちの仕事の魅力だと感じています。



事業開始

54年

2023年9月現在

1969年の事業開始から半世紀。
歴史と実績のある社会福祉法人です。



事業所

35事業

名古屋市を中心に、
北名古屋市や設楽町に展開



職員数

650名

2023年9月現在

パート職員を含む

私達の事業は、障害のある方の 仕事・活動・暮らし・将来を創る仕事です。



ゆたか福祉会の事業について

あゆみは障害者の働く場づくりから始まる

ゆたか福祉会の歴史は、1969年全国初の共同作業所である「ゆたか共同作業所」に始まり、50年以上の歴史を積みかさねています。

半世紀以上前1960年代の日本は、まだ障害者が働くことは当たり前ではなく支援する制度もない中、重度の障害者は社会の片隅に置かれた存在でした。「障害があっても働ける工場を作ろう」と出発したのが「ゆたか共同作業所」でした。障害のある仲間たちのいきいきと働く姿は、周りの人々に共感と感動をよび、「共同作業所づくり運動」として全国に広がっていきました。

仕事と 活動を創る

障害があっても、働くことはとても大切なことだと私たちは考えています。社会の一員として働いて給料をもらうという金銭面はもちろん、人の役に立つこと、良い商品を作って多くの皆さんに喜んでもらうことなど、労働は人間の生きがいや成長につながる大きな魅力を持っています。ゆたか福祉会では、障害のある方の労働・仕事を保障するため、様々な取り組みを行っています。名古屋市内を中心に11ヶ所の事業所が存在しています。

企業就職に向けた支援

就労移行支援・就労定着支援

一般企業などへの就労を希望する障害のある方に対して、一定期間、就労に必要な知識や能力向上のための訓練を行い、企業への就職を支援します。職員は事業所内での訓練プログラムの実施や企業における作業や実習、適性に合った職場の開拓、就労後の職場定着のための支援などを行っています。

仕事を創り、働く力を引出す

就労継続支援A型・就労継続支援B型

企業で本格的に働くことは難しくても、サポートがあれば障害の重い人たちでも働くことを通し大きな力を発揮します。ゆたか福祉会では食品製造やリサイクル事業、清掃、クリーニング、メール便の封入加工、簡易軽作業など様々な仕事づくりに取り組んでいます。また、一人ひとりの働く力を引出すことで生産性を向上させ、高い賃金や工賃を保証することもめざしています。ゆたか福祉会の各事業所の平均工賃は、県内トップレベルの水準です。

日中の生活をゆたかに、労働と活動を創る

生活介護事業

この事業は送迎などもあり、比較的障害の重い人達が利用している事業です。ゆたか福祉会では働くことを大切にしていますので、簡易作業であっても工賃を支給しています。それは金銭面だけでなく、そのことが社会に繋がる体験になると考えているからです。生産活動と創作活動、趣味の活動などを組み合わせながら、日中をゆたかに過ごせるよう支援しています。



年間予算規模

約31億4千万円

2022年度決算額



就労施設を利用している
障がい者の平均工賃

53,284円

2022年度

就労継続支援B型事業所の
愛知県平均 約18,173円

暮らしを創る

日々のくらしで当たり前のように感じていることでも、障害のある方々にとっては生活に困る場面は多いのです。ゆたか福祉会ではそのような方々の日々の暮らしのお手伝いをするこも、大事な役割として取り組んでいます。



Yutaka
Fukushikai

地域での暮らしを創り支える

グループホーム

地域の中で、一人の市民として街の人とふれあいながら生活する。「グループホーム」はそんな障害のある人達の願いを実現する為につくられてきました。食事の提供や、金銭管理、健康管理などの生活面のサポートを提供。小規模ながら多様なスタイルのホームがあるのが特徴です。

地域で暮らすための訓練と支援

宿泊型自立訓練事業

名古屋市では数少ない宿泊型自立訓練事業として、相談支援事業所と連携しながら、地域での暮らしを希望する障害のある方を数多く支援しています。2年間の利用期限があり一般企業に勤めている障害のある方の支援を、卒業後も含めて継続的に行っているのが特徴です。

障害の重い方の暮らしを創り支える

生活施設・短期入所事業

障害の重い方や高齢になった皆さんが安心して暮らすための生活施設は、全て完全個室でプライバシーが確保されています。昼の年中活動、夜間の生活支援と合わせて24時間、365日の支援を行っています。医療系専門職も配置し、専門的な支援も行っていきます。たくさんの方々が連携し協力しながら働いています。

地域で暮らす個人を支える

ヘルパー派遣事業

障害のある方々、高齢の皆さんの地域での暮らしを支える為に、通院や外出の為の移動支援、食事や洗濯、買い物や家事援助、車椅子の方々などの生活を支える身体介護など、地域で暮らす個人の方達を対象とした事業を行っています。

将来を創る

相談支援事業

障害のある方が、「福祉サービス」を利用する場合に必要な計画を作る計画相談事業、病院や施設からの地域移行を支援する地域移行・定着相談事業を行っています。また緑区では基幹相談支援センターも受託しており、身近な地域にある相談事業所として、障害者ご自身や家族の相談を数多く受けています。正規職員の1割がこれらの業務を担っています。



特徴のある

高齢事業

介護保険の対象である高齢事業をゆたか福祉会でも行っています。日中の介護や入浴、食事などのサービスを提供するデイサービス事業、認知症の方を対象としたグループホーム、ヘルパーの派遣事業、高齢の方ご本人やご家族の相談を受け、福祉制度を活用する為のケアプランを作成する居宅支援事業所など、地域に根差した高齢者の為の事業を行っています。



職員としての あなたの人生を支えたい

障害者とその家族の皆さんに、さまざまなサービスを提供し続けることに加え、障害者を支える職員の皆さんの「生活」を守ることも私たちの使命です。資格取得に向けてのサポートのほか、休暇や給与などの福利厚生においても注力し、「子育てサポート企業」の認定や「次世代認定マーク」の取得など働きやすい職場づくりを目指し、常に改善を続けています。



新人のあなたの

仕事を 支える

職場の雰囲気や新人支援の様子を紹介

4月に正規採用職員として入った職員の方々には、配属事業所毎に職場の先輩を援助担当者として任命し、1年間、皆さんの成長をサポートします。私達の仕事の基本は、障害のある人や高齢の方々に対するチーム支援です。新人の職員も含めて情報交換と支援の在り方の共通認識がとても大切になります。職場が明るく前向きで、よく話し合い、みんな笑顔で支援できることをめざしています。

研修制度

入社1~2年目には、基礎となる知識や技術の習得を目指し、3年目には責任を持って働ける環境を提供し、5年目には現場のリーダーとして施設運営にも携わってもらえるようなステップアッププランを構築、実施しています。特に新人研修では1年間を通して節目ごとの研修を行い、障害者福祉の歴史、障害の基礎理解、法人の歴史と理念、介護技術、運転講習など様々なプログラムが組まれています。

あなたの将来を支えたい

ゆたか福祉会に会い採用させていただく。私達はこの出会いをととても大事にしています。あなたが長く勤めて、障害のある皆さんとともに人生を歩んでいってほしいと願っています。若いあなたはこれから、様々な経験をすることと思います。長い人生の過程で、自分の仕事ができやりがいがあり、人を大切に仕事であると感じる瞬間があれば、それは幸せなことではないかと思えます。

福利 厚生

- 年次有給休暇 入社直後から付与、最高年20日間、5日間は時間単位で取得可能
- 特別休暇 結婚休暇、忌引休暇、生理休暇、産前産後休暇、保育休暇 など
- 各種手当 通勤手当、資格手当、住居手当、扶養手当、業務手当、夜勤手当、管理職手当、超過勤務手当 など
- 子育て支援制度 産前産後休暇・育児休業制度(育児給付金と合わせて給与の8割を保証) 保育休暇(年間5日有給/15分単位取得)育児時間制度(3歳まで)
- 健康診断・産業医制度
- 退職金制度 国と県2種類の社会福祉法人の為の退職金制度に加入しています。



女性の育休取得率

100%



月平均残業時間

5.3時間



5年後年収モデル

400万円
+60万円(生活補償)



5年間定着率

92%以上

先輩の声

総合職として採用した職員は、入職後それぞれの事業分野に分かれて配属され、経験を積み重ねていきます。定期的な事業所間の転勤もありますので、その分野のプロとして専門性を追求しながらキャリアを重ねていきます。そんな先輩たちの姿を紹介します。

O・Hさん (2019年採用) 1日のスケジュール (日中施設勤務)

9:00	12:00	13:00	15:45	16:00	17:30
出勤 朝礼	利用者 受け入れ	利用者支援	利用者給食	職員給食	利用者支援
9:00 出勤～朝礼 職員で朝礼を行い1日の予定などを確認し、情報を共有します。	12:00～13:00 利用者給食 キッチンゆたかから運ばれた給食はいつも栄養満点で温かな手作り。利用者の食事の見守りをします。	13:00～15:45 利用者支援 利用者の様子を確認し、明日の予定を利用者と確認をします。ヘルパーやご家族に1日の様子を引き継ぎます。	15:45～16:00 利用者給食 職員給食	16:00 利用者給食	16:00 利用者給食

東海学園大学
教育学科保育専攻
卒業



大学時代は保育を専攻。卒業後は保育士を目指していましたが、実習でゆたか福祉会での楽しかった経験から福祉を仕事に選びました。現在は日中活動事業所で働き、軽作業の部門に所属しています。利用者さんが行う軽作業をサポートし、求人広告を見ながら営業の電話をかけ内職の仕事をしていただきます。内職では封筒の向きを揃えて袋に入れる作業やお菓子の箱に取っ手を付ける作業、缶バッジにピンを付けるなどその都度作業内容が変わります。中には難しい作業もあり、できるだけ利用者さんが作業しやすいように治具や機器を活用して一人ひとりに合った

作業を行います。そばで見守りながら、利用者さん自身ができた喜びや達成感を感じている姿を見ると「やった！」と私もガッツポーズ。作業をする以外には季節の行事を企画します。秋祭りやクリスマス会、ちょっと贅沢なオードブルを食べる楽しいイベントも。利用者さんと職員全員で楽しめます。今まで障がいの方へ接する機会がなく入職当初は緊張しましたが、実際に働くことと利用者さんはピュアで笑顔がステキな方が多く毎日楽しいと思える瞬間がたくさんあります。ゆたか福祉会の職員さんは優しい方ばかり。安心して一から教わったおかげで仕事を続けることができました。興味を持って明るくコミュニケーションが取れる方ならゆたか福祉会で活躍できると思います。是非私たちと一緒に働いてみませんか。



利用者さんの喜びが
自分のことのように嬉しい!
安心して仕事を
続けられる

I・Tさん (2014年採用) 1日のスケジュール (相談支援業務)

9:00	9:15	9:30	12:15	13:00	15:00	17:00	17:30
出勤 朝礼	訪問の準備	訪問・面談	昼食	関係各所へ連絡	役所へ書類提出	業務日誌へ記入	退勤
9:00～9:30 朝礼～訪問の準備 スケジュールの確認、それぞれのケースから情報共有。訪問前に必要な書類が準備できているか不備がないかを確認します。	9:30～12:15 訪問・面談 利用者宅へ訪問し、困りごとややってみたいことなどの聞き取り。作業所に通うことが難しい方の家に訪問し、一人ひとりの声を聞きながら親身に寄り添います。	12:15～13:00 昼食	13:00～15:00 関係各所へ連絡 訪問の時に気になったことや、連絡の必要がある時にはすぐに関係者で共有します。	15:00～17:00 役所へ書類提出 届出が必要なものは役所へ提出し、相談と情報共有を徹底しています。	17:00～17:30 業務日誌へ記入	17:30 退勤	17:30 退勤

中京大学
現代社会学科
卒業



将来は人の役にたつ仕事に就きたい。大学で福祉を学び、社会福祉士を取得しました。入職当初は作業所に配属。ゆたか福祉会では「障がい」のイメージが変わるほど仕事に熱心な利用者さん達の姿に驚きました。ある利用者さんと関係性がうまく築けない時期もあり「こわい言いがされた」と言われたことも。あきらめず徐々に信頼関係を築き、仲良く会話ができるようになったことは振り返るとよい思い出に。入職9年目になり、現在は相談支援専門員として様々な障がいのある方の自宅を訪問します。日常の様子や暮らしぶりから今必要なサービスは何か

を考えます。現場では知的障がいの方に接する場面が多いですが、相談支援専門員はさまざまな障がいの方とお会いします。サービス利用計画書を作成し外部との連絡も多いです。抱える課題が大きい場合は、すぐに行政につなぎ報連相を。現場の頃とは業務内容が変わりましたが、社会的にも相談支援員の仕事には大きな意味があると感じます。福祉を通してこんなに人の人生に寄り添い困っている人のお手伝いができる。誰かの役に立てたとわかりやすく実感できる仕事だと思えます。労働条件も改善され、私も日頃は定時で帰宅できる環境で働いています。福祉業界は理論、方法、目的を理解して支援を行える人が必要な人材だと思います。私も道半ばですが、福祉の世界に興味がある人は是非ゆたか福祉会の職場体験へ来てください。



人の人生に寄り添う
役に立てた事を実感できる
人と社会に貢献する
大きな意味を感じる

M・Kさん (2021年採用) 1日のスケジュール (グループホーム夜勤業務)

16:30	17:00	17:30	20:00	23:00	6:00	8:00	8:30	9:30	
出勤 夕礼	夕食作り開始	仲間の帰社	順次夕食服薬の見守り	業務日誌・作業所との連絡帳の記入	居室見回り消灯声かけ・仮眠	明け勤務開始起床声かけ・朝食作り	作業所への出勤送り出し	業務日誌記入	退勤
16:30 夕礼 その日の職員と申し送りを行い、夕食作りを開始します。	17:00 仲間の帰社 作業所からの連絡帳で問題がなかったかを確認。順次入浴の支援を行います。	17:30 順次夕食服薬の見守り	20:00 業務日誌・作業所との連絡帳の記入 入浴と食事が終わりひと段落。業務日誌を書き始め、作業所の連絡網を確認。頑張って作業されているのを見て安心します。	23:00 居室見回り消灯声かけ・職員仮眠 朝は6時起きと早起きなので、声かけをしながら順次就寝して頂きます。みなさんよく眠られますよ!	6:00 明け勤務開始起床声かけ・朝食作り	8:00 作業所への出勤送り出し 作業所へ出勤する方を「いってらっしゃい」と明るく見送ります。	8:30 業務日誌記入	9:30 退勤	

福井県立大学
看護福祉学部
社会福祉学科
卒業



障がいのある親戚の方がいたことや介護士の母が働く姿を間近で見て育ち、福祉に興味を持ちました。大学で学び、社会福祉士を取得。現在はグループホームに勤務し利用者さんの生活や健康面をサポートしています。平日は作業所へ通う利用者さんとゆっくりコミュニケーションをとる時間が難しく「今日はあまりお話ができなかったな」と気になることがあります。その分、グループホームの醍醐味でもある余暇支援では土日に利用者さんと外出し日用品を買いにスーパーへ出かけたり、野球観戦へ行くことも。クルーズ船に乗って中川運河を船行する体験もしました。楽しい時

間を過ごす中で普段の生活では知らなかった利用者さんの話を聞くことができ、お互いに新しい一面を知ることが出来ます。福祉の仕事は未経験の人も挑戦できますが、利用者さんの話す言葉をしっかりと聞くことや1対1で誠実に向き合う姿勢が大切です。ゆたか福祉会には海外研修が実施され、私も9月にベトナム研修に参加し、現地の提携している大学や施設をめぐり、たくさんのお話を学び帰ってきました。ゆたか福祉会はチャレンジしたいことを応援してもらえ環境が整っているので若い世代にはとても心強いです。将来は学生時代から希望していた相談支援事業に携わることが目標です。5年の現場経験が必要なので今は毎日の業務を丁寧に行い、スキルアップしていきたいです。



土日の余暇支援でも
充実したコミュニケーションを
日々の体験を活かして
丁寧にスキルアップ

S・Mさん (2012年採用) 1日のスケジュール (副所長)

9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	17:30
出勤 朝礼	作業所への出勤送り出し	サービス管理責任者会議	昼食	実務時間	利用者帰社・入浴等
9:00 出勤送り出し 前日の夜勤職員から申し送り、利用者を作業所等へ送り出します。	10:00 サービス管理責任者会議 地域支援のサービス管理責任者が集まり、各事業所の交流、職員研修の企画、事業所内の情報交流を行います。	12:00 サービス管理責任者会議	13:00 昼食	16:00 実務時間 勤務表作成や各職員の勤怠処理、その他会議書類の作成や研修準備など。副所長としての大きな仕事の一つです。	17:30 利用者帰社・入浴等 入浴支援や夕食準備など、現場と一緒にいることで現場職員の意見等を聞く時間にもなります。

日本福祉大学
社会福祉学科
卒業



ゆたか福祉会のグループホームは35カ所あり、私は副所長になって2年目です(現在は所長)。日頃は利用者さんの支援を中心に職員の勤務管理を行います。定期的にサービス管理責任者が集まり会議をし、会話をすることでどこか気持ちがホッとすることも。入職11年目ですが、未だに同期も皆それぞれが各施設で頑張っています。私も自分のペースで資格を取得し主任から副所長に着実なキャリアアップができました。プライベートでは結婚し今年子どもが生まれ父親になりました。福祉業界は給料の低さを問われることがありますが、ゆたか福祉会は職員が

安心して家庭を持ち子育てができる生活が可能だと実感しています。学生時代はあっという間。就活も大事ですが、遊びはそれ以上。遊びの中で学んだことは福祉の世界で役に立ちます。私も車いすの利用者さん達と楽しいことをしよう計画し、マイクロバスを運転して標高1,358メートルの茶臼山へ。リフトに乗り芝桜を見に行きました。親世代の利用者さん達と職員と一緒に楽しみ笑顔で過ごした日を今も忘れません。利用者さんの中には今までの生活で苦労された方もいらっしゃいます。グループホームは利用者さんにとって「家」。常に居心地の良い場所にしたいと願います。働く職員は20代～30代と若い世代が多く、彼らの機動力と体力を生かして今まで以上にメリハリのある職場作りを目指していく所存です。



人の人生に寄り添う
役に立てた事を実感できる
人と社会に貢献する
大きな意味を感じる

出身大学等 一覧

みなさんの
先輩が
活躍しています!

愛知みずほ大学、愛知学院大学、愛知教育大学、愛知教育大学大学院、愛知県総合看護専門学校、愛知県立大学、愛知江南短期大学、愛知淑徳大学、愛知大学、岐阜女子大学、岐阜聖徳学園大学、近畿大学、慶應義塾大学、皇學館大学、高崎経済大学、三重大学、松阪大学、福山女子大学、聖カタリナ女子大学、静岡大学、川崎医療福祉大学大学院、大原簿記情報医療専門学校、大阪教育大学、大同工業大学、中京女子大学、中京大学、中部学院大学、中部大学、長野大学、帝京科学大学、東海医療科学専門学校、東海医療福祉専門学校、東海学園大学、東北福祉大学、同朋大学、南山大学、日本大学大学院、日本体育大学、日本福祉大学、日本福祉大学大学院、日本福祉大学中央福祉専門学校、福井県立大学、北里大学、名古屋外語大学、名古屋学芸大学、名古屋市医師会看護専門学校、名古屋市立大学、名古屋女子大学、名古屋情報産業専門学校、名古屋造形大学、名古屋大学、名古屋調理師専門学校、名古屋福祉専門学校、名古屋文化学園保育専門学校、名城大学、立命館大学、佛教大学

インターンシップ・説明会・採用試験

インターンシップ・現場体験のエントリー

2 days

インターンシップ・職場体験

ゆたか福祉会では、インターンシップ・現場体験の取組みを大切にしています。職場環境や、働く人の様子を見てみたいなど、ご興味があれば特別な理由は必要ありません。採用試験エントリーの前に、まずは体験してみてください。
参加ご希望の方はQRコードから、お気軽にエントリーください。

1日目

- ガイダンス
- 法人事業や業務内容の説明など
- 現場体験

2日目

- 現場体験・感想記入
- 法人説明(福利厚生や給与、労働条件や労働環境についてなど)
- 質疑応答



インターンシップ
職場体験エントリー

説明会のエントリー

新卒・既卒の方向けの説明会を実施しています。インターンシップのエントリーを迷っている方、ゆたか福祉会での実習経験があっても、改めて法人事業の説明を聞きたい方などが対象です。右のQRコードから、お気軽にご応募ください。

- 法人事業説明
- 福利厚生、給与、労働条件
- 労働環境についての説明
- 質疑応答



会社説明会エントリー

採用試験エントリー

ゆたか福祉会では、性格検査・能力検査としてSPI試験、面接を実施いたします。内定までのフローを下記に記載しておりますので、ご自身に合ったフローを選び、採用まで順次エントリーください。



採用試験エントリー

内定までのフロー

STEP 1 エントリー

ご自身の対象となるエントリー方法をご確認ください。
QRコードでゆたか福祉会のホームページより各申込みが可能です。

A ゆたか福祉会で社会福祉士や 保育などの実習をされた方へ

採用エントリーから、お申し込みいただけます。説明希望の方は、まずは説明会へエントリーください。

B ゆたか福祉会での体験が 未経験の方へ

ミスマッチを防ぐため、まずは現場を体験してもらうことをお勧めしています。
▶インターンシップ・現場体験へのエントリーから体験にお申し込みください。
▶体験後、採用試験を希望される場合は採用エントリーから試験の申し込みを行ってください。

C 当法人を知りたい方へ

説明会のエントリーから、当法人についてご説明させていただきます。その後インターンシップや職場体験などにもつながります。

STEP 2

採用試験

SPI、面接(筆記用具を持参ください。)

STEP 3

内定のご連絡

1週間程度で可否通知をお送りいたします



福祉系でない学部卒の割合

60%

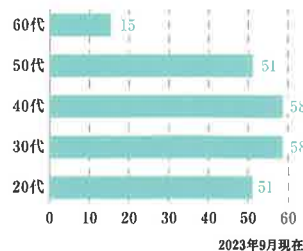


管理職男女比

45:55

2023年9月現在

年代別正規職員構成



リクルート専用サイト

社会福祉法人

ゆたか福祉会

YutakaFukushikai

〒457-0852 名古屋市南区泉楽通四丁目5番地3
yutakahonbu.com

TEL

052-698-7356

Mail

recruit@yutakahonbu.com